

資料 22 自治体等との連携協力に関する協定

自治体等との連携協力に関する協定一覧

相 手	名 称	締結年月日
富山県	富山県と国立大学法人富山大学との連携に関する協定書	平成 17. 11. 1
富山市	富山市新産業支援事業に関する協定書	平成 18. 6. 29
高岡市	災害時における施設等の使用に関する協定	平成 19. 12. 1
富山市	富山市と富山大学との連携協力に関する包括協定書	平成 20. 10. 21
北陸銀行	包括的連携協力に関する覚書	平成 17. 3. 23
富山第一銀行	包括的連携協力に関する覚書	平成 17. 12. 1
富山銀行	包括的連携協力に関する覚書	平成 17. 12. 1
日本政策金融公庫富山支店	産学連携の協力推進に係る協定	平成 19. 2. 8
高岡信用金庫	産学連携の協力推進に係る協定	平成 20. 2. 21
魚津市	魚津市と富山大学との連携協力に関する包括協定書	平成 23. 10. 27
高岡市	高岡市と富山大学との連携協力に関する包括協定書	平成 23. 11. 28
(株)北日本新聞社	包括連携協力に関する協定書	平成 26. 11. 21
富山テレビ(株)	包括連携協力に関する協定書	平成 26. 12. 9
富山新聞社	包括連携協力に関する協定書	平成 26. 12. 24
(株)読売新聞東京本社	包括連携協力に関する協定書	平成 27. 3. 25

(補足資料：協定の主な目的について)

協定の種類	協定の目的・内容
富山県との連携協定	地域の課題に迅速かつ適切に対応し、活力のある個性豊かな地域社会の形成・発展に寄与する。
富山市新産業支援事業に関する協定	企業と大学の共同研究の推進や、大学の研究成果を活かした事業化、地域中小企業等の新事業への展開を支援することにより、富山市における研究開発型ベンチャー企業の発掘・育成を図り、地域経済の活性化に資する。
自治体との連携協力に関する包括協定	文化、教育・研究、環境、産業、まちづくり、健康、国際交流等の様々な分野において、人的交流及び知的・物的資源の相互活用その他の連携協力を推進することにより、それぞれの活動の充実を図るとともに、地域社会の持続的な発展に資する。
金融機関との包括的連携協力に関する覚書	教育・研究の推進及び活力ある地域経済の発展並びに地域社会の活性化を図る。
金融機関との産学連携の協力推進に係る協定	地域の産学連携を推進し、地域中小企業の発展に貢献する。
報道機関との包括連携協力に関する協定	富山県内の様々な地域課題等の研究・分析・報道することにより、社会に成果を還元し、地域の再生・活性化に貢献する。

資料 23 北陸建設界の担い手確保・
育成推進協議会（富山部会）

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会

設立趣旨

北陸地方における建設界では、少子高齢化の進展や労働人口の減少に加え、近年の建設投資の大幅な減少による受注競争の激化等により、建設業者数や建設業就業者数も減少しており、とりわけ離職者の増加や若年入職者の減少等の厳しい状況に直面している。また、これらの状況については、これまで建設界の持つ魅力を建設界全体として発信することや建設界に対する好印象を醸成することが、うまくできてこなかったことも主因の一つと考えられる。

このような状況下においては、将来にわたる社会資本の整備・維持管理及びその品質確保や、冬の除雪を含む災害時の対応等を通じた地域の維持等に支障が生じることが懸念されることから、地域における担い手の確保・育成は極めて重要な課題となっており、平成26年には、「公共工事の品質確保の促進に関する法律」、「建設業法」「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」のいわゆる担い手三法が改正され、建設工事の担い手の育成と確保について、建設業者団体や国等の責務が明確化されたところである。

上記をふまえ、北陸地方における建設界の担い手をめぐる現状や課題に関する認識を共有し、建設界の担い手不足に対し、建設関係団体、教育機関、関係行政機関等が一体となって担い手の確保・育成の取組みを推進することを目的としたプラットフォームとして、「北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会」を設置する。

	所 属	役 職
1	(一社) 日本建設業連合会	北陸支部長
2	(一社) 新潟県建設業協会	会長
3	(一社) 富山県建設業協会	会長
4	(一社) 石川県建設業協会	会長
5	(一社) 建設コンサルタント協会	北陸支部長
6	(一社) 新潟県測量設計業協会	会長
7	(一社) 富山県測量設計業協会	会長
8	(一社) 石川県測量設計業協会	会長
9	新潟大学	工学部 建設学科 教授
10	長岡技術科学大学	環境・建設系 教授
11	富山大学	工学部長
12	富山県立大学	工学部 環境工学科 准教授
13	金沢大学	理工学研究域 環境デザイン学類 教授
14	金沢工業大学	環境・建築学部 環境土木工学科 教授
15	長岡工業高等専門学校	環境都市工学科 教授
16	石川工業高等専門学校	環境都市工学科 教授
17	新潟工業高校	校長
18	新発田南高校	校長
19	富山工業高校	校長
20	小松工業高校	校長
21	金沢市立工業高校	校長
22	新潟労働局	職業安定部長
23	富山労働局	職業安定部長
24	石川労働局	職業安定部長
25	北陸地方整備局	局長
26	北陸地方整備局	企画部長
27	北陸地方整備局	建設部長
28	信濃川河川事務所	事務所長
29	新潟国道事務所	事務所長
30	富山河川国道事務所	事務所長
31	金沢河川国道事務所	事務所長
32	北陸技術事務所	事務所長
33	新潟県	土木部長
34	新潟県教育委員会	高等学校教育課長
35	新潟県教育委員会	義務教育課長
36	富山県	土木部長
37	富山県教育委員会	県立学校課長
38	石川県	土木部長
39	石川県教育委員会	教育次長 兼 学校指導課長
40	新潟市	土木部長
41	北陸地質調査業協会	理事長
42	(一社) 日本道路建設業協会北陸支部	支部長

資料 24 教育実習承諾書

都市デザイン学部 教育実習施設一覧

- ・高等学校教諭一種免許状（理科），（工業）
- ・中学校教諭一種免許状（理科）

学 校 名	住 所	受入れ可能人数
県立富山工業高等学校	富山市五福 2238	240 名
県立高岡工芸高等学校	高岡市中川 1-1-20	210 名
県立魚津工業高等学校	魚津市経田 3338	120 名
県立砺波工業高等学校	砺波市鷹栖 285-1	90 名
富山市立富山西部中学校	富山市五福 130	130 名

承 諾 書

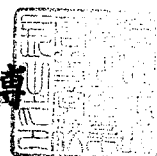
平成 29 年 2 月 28 日

富山大学長 殿

学校名 富山県立富山工業高等学校

職 名 校 長

氏 名 當流谷正博

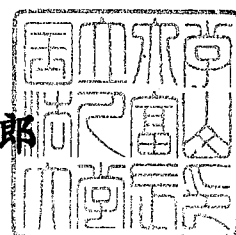


本校は、富山大学工学部工学科並びに都市デザイン学部地球システム科学科、都市・交通デザイン学科及び材料デザイン工学科の教職課程の認定の上は、平成30年4月1日から富山大学の教育実習校となることを承諾します。

この写は原本と相違ないことを証明する

平成29年3月7日

国立大学法人 富山大学長 遠藤俊郎



承 諾 書

平成29年3月1日

富山大学長 殿

学校名 富山県立高岡工芸高等学校

職 名 校長

氏 名 菊池政則

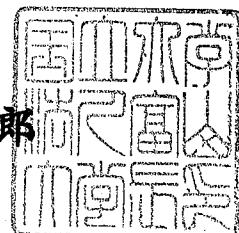


本校は、富山大学工学部工学科並びに都市デザイン学部地球システム科学科、都市・交通デザイン学科及び材料デザイン工学科の教職課程の認定の上は、平成30年4月1日から富山大学の教育実習校となることを承諾します。

この写は原本と相違ないことを証明する

平成29年3月17日

国立大学法人 富山大学長 遠藤俊郎



承 諾 書

平成29年3月 / 日

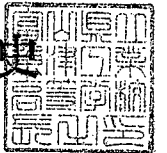
富山大学長 殿

学校名 富山県立魚津工業高等学校

職 名

校長西脇清史

氏 名

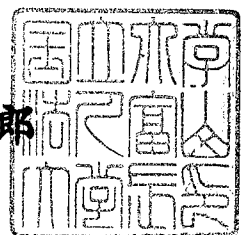


本校は、富山大学工学部工学科並びに都市デザイン学部地球システム科学科、都市・交通デザイン学科及び材料デザイン工学科の教職課程の認定の上は、平成30年4月1日から富山大学の教育実習校となることを承諾します。

この写は原本と相違ないことを証明する

平成29年3月17日

国立大学法人 富山大学長 遠藤俊郎



承 諾 書

平成 29 年 2 月 24 日

富山大学長 殿

学校名 富山県立砺波工業高等学校

職 名 校長

氏 名 松倉 泉

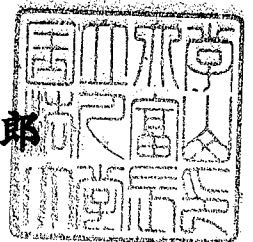


本校は、富山大学工学部工学科並びに都市デザイン学部地球システム科学科、都市・交通デザイン学科及び材料デザイン工学科の教職課程の認定の上は、平成 30 年 4 月 1 日から富山大学の教育実習校となることを承諾します。

この写は原本と相違ないことを証明する

平成 29 年 3 月 17 日

国立大学法人 富山大学長 遠藤俊郎



承 諾 書

平成29年 3月 1日

富山大学長 殿

学校名 富山市立西部中学校

職 名 校長

氏 名 道 正 和

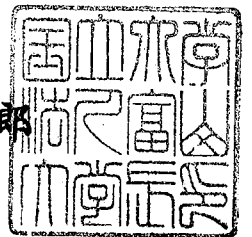


本校は、富山大学都市デザイン学部地球システム科学科の教職課程の認定の上は、平成30年4月1日から富山大学の教育実習校となることを承諾します。

この写は原本と相違ないことを証明する

平成29年3月7日

国立大学法人 富山大学長 遠藤俊郎



資料 25 3年次編入学履修モデル

都市・交通デザイン学科 履修モデル（3年次編入）

養成する能力	幅広い知識	問題発見・解決力	コミュニケーション能力	社会貢献力	都市と交通に関わる文理両面にわたる専門的学識	
ディプロマポリシー	「都市と交通」に関わる文理両面にわたる深い専門的学識を学修した上で、問題発見・解決力、デザイン思考による豊かな想像力、多様な人々とのコミュニケーション力、それらを高いレベルで統合できる能力、及び倫理観・責任感を身に付けて、自然と共生する地域社会や国際社会の持続的発展に貢献し得る人材					
4年次	T4 T3 T2 T1	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 鉄軌道と道路、都市交通情報通信 都市と建築の環境学 都市・地域創生学 </div>				
3年次	T4 T3 T2 T1	自然災害学 物質科学 インフラ材料	プログラミング演習 地域デザインPBL 都市ブランドデザイン 全学横断PBL デザイン思考基礎 データサイエンスⅢ データサイエンスⅡ	クロアハのいびえない 科学者・技術者の倫理と知的財産 インターンシップ 地域デザインPBL 都市ブランドデザイン 全学横断PBL デザイン思考基礎 モビリティデザイン	やってみようゼミⅠB 水理・水工学の応用と 河川・海岸 やってみようゼミⅠA 構造力学の応用と橋梁・耐震 地盤工学の応用と建設施工 地震・水理実験 設計製図Ⅱ、防災と情報 アセットマネジメント 構造・材料実験 インフラ設計学 コンクリート構造 都市デザイン史	都市と交通の基礎理論 都市景観デザイン 都市のライフラインと建築設備 都市デザイン史
74	T4 T3 T2 T1	既修得単位数 50単位				
2年次	T4 T3 T2 T1					
1年次	T4 T3 T2 T1					

青字：教養
 赤字：必修
 緑字：選択
 黒字：自由
 下線：学部共通科目

都市デザイン学
の基礎
情報処理の基礎
デザイン思考
コミュニケーション
社会貢献
都市や交通の計画
都市の建設や安全・安心
建築

学部共通科目・専攻科目

材料デザイン工学科 履修モデル（3年次編入）

養成する能力
ディプロマポリシー

幅広い知識
問題発見・解決力

コミュニケーション能力
社会貢献力

材料デザイン工学に関わる
専門的学識

都市における社会基盤材料をデザインするための教養と専門的知識を修得し、これらを諸課題に応用できる問題解決力、デザイン思考の素養を持ち、自然と共生しながら地域社会や国際社会の持続的発展に貢献し得る人材



既修得単位数 70単位

4年次
T4
T3
T2
T1

3年次
T4
T3
T2
T1

75
2年次
T4
T3
T2
T1

1年次
T4
T3
T2
T1

青字：教養
赤字：必修
緑字：選択
黒字：自由
下線：学部共通科目

自然科学の基礎
都市デザイン学の基礎
情報処理の基礎
デザイン思考
社会貢献コミュニケーション
材料物性・機能
材料創製
インフラ材料
実験・応用

教養科目
専門基礎科目・学部共通科目
専攻科目

資料 26 校地の往来に伴う授業取得の
実現性（時間割）

高岡キャンパスで開講される建築設計演習の授業(空間デザインA、C、D、E)の履修を希望する学生に配慮し、キャンパス間を移動する時間を確保している。
高岡キャンパスで開講される他の科目については、1年次から4年次まで、何年次でも履修可能としているため、学生の履修パターンに応じて適宜履修が可能である。

都市・交通デザイン学科 時間割

	1年次					2年次					3年次				4年次				
	T1	T2	T3	T4		T1	T2	T3	T4		T1	T2	T3	T4	T1	T2	T3	T4	
月							空間デザインA(シエルター) (週1回2コマ)	設計製図I <週2回各2コマ>	応用数学										
		微分積分I				構造力学基礎	構造力学の応用と 橋梁・耐震	デザインプレゼン テーション											
						水理・水工学基礎	都市景観デザイン <週2回各2コマ>												
						地球情報学	プログラミン												
火						データサイエンスII (多変量解析)	地盤工学の応用と 建設施工	水理・水工学の応 用と河川・海岸											
						地盤工学基礎	測量学及び実習	都市と交通の基礎 理論											
						都市・地域創生学													
						インフラ材料	自然災害学	デザインプレゼン テーション											
水							設計製図I <週2回各2コマ>												
木						データサイエンスII (多変量解析)	構造力学の応用と 橋梁・耐震	水理・水工学の応 用と河川・海岸											
						構造力学基礎	測量学及び実習	都市と交通の基礎 理論											
						都市・地域創生学													
						微分積分II													
						線形代数II													
						入門ゼミナール													
						地球科学概論													
金							都市デザイン総論												
						工学概論(土木・建築)													
						都市と交通を支える建設技術の基礎知識	データサイエンスI(確率統計)												
インターンシップ																			
その他																			
卒業論文																			

赤字 : 教養科目
黒字 : 必修科目
: 選択科目

: 高岡キャンパスにて開講(空間デザインA、C、D、E)

: 五福キャンパス～高岡キャンパスの移動



※ 一級建築士試験指定科目のうち、以下の科目(高岡キャンパスにて開講)の配当年次は、1年次から4年次まで任意とする。(何年次でも履修可能。)
(建築と文化/人間工学概論/生活と環境/人と空間/建築製図/構造計画/住居論/西洋建築史/日本・東洋建築史/まちづくり/近・現代建築意匠/建築計画/建築論/建築生産)

資料 27 シャトルバス運行ダイヤ

1. 運行期間

平成28年10月3日(月)～平成29年2月9日(木)

運休日：土・日曜日、祝日及び平成28年12月29日(木)～平成29年1月3日(火)

緊急の行事实施や大学休業等により、ダイヤ変更や運休する場合がありますことを御了承ください。

2. 運行ダイヤ

・10月3日～2月9日 水曜日のみ
(12月28日、1月4日を除く。)

五 福		新樹寮		杉 谷		高 岡		杉 谷		五 福
9:00		9:10		9:20 9:30		10:10 10:30		-		11:15
12:10		12:20		12:30 12:40		13:20 13:30		14:10 14:20		14:35
16:35	→	-	→	16:50	→	17:30	→	-	→	18:20
18:20		-		18:50 19:00		19:50 20:05		20:45		21:00

・10月3日～2月9日 水曜日以外
(12月26日・27日、1月13日を除く。)

五 福		新樹寮		杉 谷		高 岡		杉 谷		五 福
9:00		9:10		9:20 9:30		10:10 12:10		-		12:55
14:05		14:15		14:25 14:40		15:20 15:30		-		16:15
17:10	→	-	→	17:25	→	18:05 18:10	→	-	→	19:10
19:20		-		-		20:05		20:45		21:00

・12月26日～28日、1月4日・13日

五 福		新樹寮		杉 谷		高 岡		五 福
8:15		8:25		8:35 8:45		9:25 9:30		10:15
13:05	→	-	→	13:25 13:40	→	-	→	14:00
14:35		-		14:50		15:30 15:35		16:20

本ダイヤは予定時刻であり、当日の交通事情等により、遅れたり、運行を中止したりする場合があります。
また、シャトルバス定員は28名(運転者除く。)で、これを超えた場合には乗車できません。

3. バス停位置

五福キャンパス 黒田講堂前

新樹寮 玄関前

杉谷キャンパス 管理棟前

高岡キャンパス A棟前

平成29年2月10日(金)以降の運行ダイヤについては、後日改めてお知らせします。

1. Service Period

Mon. 3 October 2016 ~ Thurs. 9 February 2017

NO Service Day: Saturday, Sunday, Public Holidays and 29 December 2016 ~ 3 January 2017

Please note that these Time Tables are subject to be changed due to any emergencies or other causes.

2. Time Table

· 3 October ~ 9 February Only Wednesday
(Except for 28 December, 4 January)

GOFUKU		SHINJURYO		SUGITANI		TAKAOKA		SUGITANI		GOFUKU
9:00		9:10		9:20 9:30		10:10 10:30		—		11:15
12:10	→	12:20	→	12:30 12:40	→	13:20 13:30	→	14:10 14:20	→	14:35
16:35		—		16:50		17:30		—		18:20
18:20		—		18:50 19:00		19:50 20:05		20:45		21:00

· 3 October ~ 9 February Except Wednesday
(Except for 26 & 27 December, 13 January)

GOFUKU		SHINJURYO		SUGITANI		TAKAOKA		SUGITANI		GOFUKU
9:00		9:10		9:20 9:30		10:10 12:10		—		12:55
14:05	→	14:15	→	14:25 14:40	→	15:20 15:30	→	—	→	16:15
17:10		—		17:25		18:05 18:10		—		19:10
19:20		—		—		20:05		20:45		21:00

· 26 ~ 28 December, 4 & 13 January

GOFUKU		SHINJURYO		SUGITANI		TAKAOKA		GOFUKU
8:15		8:25		8:35 8:45		9:25 9:30		10:15
13:05	→	—	→	13:25 13:40	→	—	→	14:00
14:35		—		14:50		15:30 15:35		16:20

Time Tables above are subject to be changed or suspended for any traffic congestion.

Bus can carry up to 28 passengers (excluding driver). No extra passengers are allowed to board if it exceeds the fixed number.

3. BUS STOPS

Gofuku Campus ··· in front of Kuroda Hall Shinju-Ryo ··· in front of Entrance
Sugitani Campus ··· in front of Administrative Office Takaoka Campus ··· in front of Bldg. A

The Time Table from Fri. 10 February 2017 will be informed at a later day.